

船舶事故調査報告書

令和7年8月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和7年1月31日 03時00分頃
発生場所	高知県土佐市白ノ鼻南東方沖 白ノ鼻灯台から真方位103° 400m付近 (概位 北緯33° 25.8′ 東経133° 28.0′)
事故の概要	漁船第三晃昭丸は、南進中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和7年2月6日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	漁船 第三晃昭丸、9.1トン K02-6608（漁船登録番号）、個人所有 第282-8916号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底外板に破口、機関室に浸水、機関に濡損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.2～0.3m、潮汐 上げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、かつお引き縄漁の目的で、高知県宇佐港南南西方沖30海里（M）付近の漁場に向け、同港の係留場所を出航した。 船長は、レーダーをコースアップ表示で0.25Mレンジとし、GPSプロッターは電源を入れていたものの、画面の光が見張りの妨げになるのでカバーを付けて画面が見えない状態にし、操縦席に腰を掛けて手動操舵により操船していた。 船長は、目視及びレーダーによる見張りを行いながら約6～7ノットの対地速力で操船を続け、本船が白ノ鼻北東方沖を南東進していたところ、レーダー画面上で右舷船首方に白礫と称される岩礁が映るようになった。 船長は、南東進を続け、レーダー画面上の岩礁の映像が右舷正横やや後方に移動したので、岩礁を通過したと思い、右舵を取って本船を南進させていたところ、船体に衝撃を感じて周囲を確認し、本船が白礫の干出岩（以下「本件干出岩」という。）に乗り揚げたことを知った。 （図1、図2 参照）



図1 航行経路図（全体）



図2 航行経路図（拡大）及び航空写真

船長は、機関を後進として本船を自力で離礁させたが、機関が停止したので機関室を確認したところ、機関室が浸水していたので自力航行を断念し、携帯電話で118番通報を行った。

本船は、海上保安庁から連絡を受けて現場に來援した付近の漁業協同組合所属の漁船により、宇佐港にえい航された。

船長は、宇佐港の出入港経験が50年以上あり、白礫及び本件干出岩の存在を知っていたものの、これまで目視及びレーダーで見張りを行いながら岩礁付近を通過できていたので、本件干出岩の正確な位置を確認していなかった。

船長は、ふだんから、宇佐港内の係留場所を出航後、GPSプロッターの電源を入れた後にカバーを付け、白礫を通過した後、GPSプロッターのカバーを外して漁場に向けて自動操舵の設定を行っており、本事故時も同様の操作を行うつもりであった。

現場調査によれば、本船のGPSプロッターには本事故時の航跡が記録されていたが、本件干出岩は縮尺を最大に拡大しても表示されなかった。(図3参照)



図3 GPSプロッターにおける白簗付近の表示

本船のGPSプロッターの取扱説明書には、本機に使用される情報は直接航海の用に供するものではないことが注意事項として記載されているとともに、変針地点を結んでルートを作成する方法、浅瀬や操業禁止区域の場所にマークやラインを入力する方法、設定した侵入禁止ポイントに接近した際に警報を鳴らす方法等が紹介されている。

本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.2mであった。

船長は、救命胴衣を着用していた。

分析

本船は、白ノ鼻北東方沖を南東進中、船長が、本件干出岩の存在は知っていたものの、正確な位置を確認していなかったことから、本件干出岩に向かう針路となり、本件干出岩に乗り揚げたものと考えられる。

船長は、これまで目視及びレーダーで見張りを行いながら岩礁付近を通過できていたことから、本件干出岩の正確な位置を確認していなかったものと考えられる。

原因

本事故は、夜間、本船が、白ノ鼻北東方沖を南東進中、船長が、本件干出岩の存在は知っていたものの、正確な位置を確認していなかったため、本件干出岩に乗り揚げたものと考えられる。

再発防止策

今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

	・ 船長は、岩礁が存在する海域を航行する場合、岩礁の周囲にもレーダーに映りにくい岩や浅所が点在していることがあるので、岩礁から安全な距離を保つこと。 ・ G P Sプロッターを搭載している船舶の船長は、同プロッターに内蔵されている水深等の情報の精度についてあらかじめ理解しておくとともに、操作方法に習熟しておくこと。また、航行する機会が多い海域には、G P Sプロッター上に浅所の場所や避険線を入力しておくこと。
--	--